

重要文化財指定記念シンポジウム

「西島松5遺跡」 ～古代恵庭の実像に迫る～

同時開催「西島松5遺跡展」

12時～16時

重要文化財の実物展示（数点）と出土品や墓などの写真、パネルなどを展示します

11号墓遺物 佐藤雅彦（考古事務所クリーク）



令和6年8月27日に擦文文化期前半（7～9世紀ごろ）の西島松5遺跡出土品
218点が国の重要文化財に指定されました。

本シンポジウムでは出土品の歴史的価値について広く皆様にお伝えするとともに、

墓や金属製品、土器などから古代の恵庭に暮らしていた人々の実像に迫ります。

また、西島松5遺跡から恵庭の過去と未来も考えます。

令和7年

10月13日（月・祝）

13時～15時35分（開場12時）

恵庭市民会館 3階 中ホール

恵庭市新町10番地（市役所隣）

定員400名 参加無料・申込不要

問合先：恵庭市郷土資料館

電話：0123-37-1288 ファックス：0123-37-5303

Eメール shiryokan@city.eniwa.hokkaido.jp

主催：恵庭市・恵庭市教育委員会

報告「西島松5遺跡の概要」

長町章弘（恵庭市郷土資料館 学芸員）

基調講演「西島松5遺跡とその時代」

蓑島栄紀（北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授）

講演1「西島松5遺跡とその時代の墓—土坑墓から末期古墳へ—」

鈴木琢也（北海道博物館 事業部長・博物館研究センター長）

講演2「西島松5遺跡の刀剣と銅製品、海を渡った交流の足跡」

横須賀倫達（文化庁文化財第一課考古資料部門 主任文化財調査官）

講演3「西島松5遺跡に葬られた人々」

大沼忠春（元北海道教育庁文化課 主幹）

パネルディスカッション

「西島松5遺跡から考える—恵庭の過去と未来—」

コーディネーター 蓑島栄紀

パネリスト 大沼忠春、横須賀倫達、鈴木琢也、原田裕（恵庭市長）